

海老名市立東柏ケ谷小学校 学校運営協議会 議事録
(令和5年度 第5回)

- 1 日時 令和5年11月29日(水) 15:30～
- 2 場所 海老名市立東柏ケ谷小学校 ランチルーム
- 3 出席委員 芳賀敬子委員長, 佐藤充明副委員長, 長井徹委員, 柳下泰介委員, 瀬戸口壮委員, 小池一美委員, 守谷美子委員, 工藤真委員, 佐藤孝男委員, 小山内清潤委員, 海野望委員, 小林丈記校長

4 会議の内容

(1) はじめに

芳賀委員長：塚原さんには30周年のときからお世話になっていた。ご冥福をお祈りしたいと思う。本日もお忙しい中お越しいただきありがとうございました。行事の多い2学期でしたが、無事にえびなっ子スクールが終わりました。1年生の図工や2年生の九九、今後は5年生の俳句を地域の皆様と指導していくことで話が進んでいる。今日は、あいさつ運動、学力調査などの話から学校の子どもたちの様子がわかるとよいと思う。よろしく願いいたします。

(2) 学校長より

小林校長：季節が一気に移り替わってきた。一つ一つの行事の中で子どもたちは多くのことを学んでいる。学校運営協議会後には、図工作品展・学校へ行こう週間や東柏ふれあい作品展が行われる。地域の皆様にもご参加いただきたい。海老名市の方針で、12月には2学期の所見に代わる教育相談が行われる。本日は盛りだくさんの報告、協議がありますので、よろしく願いいたします。

(3) あいさつ運動の取り組みについての報告

植木教諭：2学期に取り組んだものはビブスデイにあわせてあいさつ運動を行った。代表委員だけでなく、有志であいさつ運動を行う児童もいた。あいさつレンジャーでは、週一回校内放送でよいあいさつをしていた児童を紹介した。

芳賀委員長：職員があそびっ子のところを通るときにあいさつをするとよい。

(4) 50周年事業についての報告

小林校長：式典、記念イベントは11月30日(土)に決まった。9:00から記念式典(6年児童参加)を行う。午後は、地域と卒業生が参加できるようにしていく。

専門業者をお願いしながら行っていく。(記念誌の発行、航空写真、バルーンリリース、クリアファイル、バンダナ、横断幕、運動会の参加賞のノート、児童教職員のTシャツ)今後専門部会を設けて進めていく。専門部会と主な取り組みについては別紙参照。

学校の取り組みの進捗状況は、スローガン「笑顔あふれる、明るい学校」とマスコットキャラクター最終の8点が決定した。マスコットキャラクターは78点の提出があった。0次選考を行い、1次選考(6年生の選考)の結果8点になった。今後6年生がプレゼンをして児童全員の投票により決定していく。

学校運営協議会の委員の皆様、スローガン「笑顔あふれる、明るい学校」のご承認をいただいた。

(5) グラウンドゴルフ大会について

三村総括教諭：令和5年度第38回グラウンドゴルフ大会を、令和6年1月17日(予備日1月24日)に行う予定。12月20日の打ち合わせの際に、当日の実施方法を確認させていただきたい。この後の学区連絡協議会で変更点の確認等も行う。

(6) ひびきあう教育実践事業費 予算案について

小林校長：改めて学校予算への承認をいただきたい。現時点で調整中だが、少しオーバーしてしまっている状況。別紙参照。

【協議】予算の内訳など

佐々木教諭：本を地域の方から集めて300近くの本が集まった。消耗品をなんでも買うのではなく、本のように地域の方に協力を依頼するのはどうか。

小林校長：ビオトープは予算に入っていなかったが、各自治会長さんに協力いただいてリニューアルすることができた。感謝申し上げます。

芳賀委員長：予算を細かく決めなければならないのは大変だと感じた。子どもと向

き合う時間がなくなってしまう。

工藤委員：学校運営協議会の接待費5万円のお茶などは来年度からはなしでもよい。

三村総括教諭：限られた予算の中で計画を立てなければならない。借りられるものは借りたらよい。本当に必要なものを考えていきたい。

予算案について委員の皆様にご承認いただきました。

(7) 全国学力学習状況調査について

小久保総括教諭：学力調査は6年生が1学期に行った。全国的な児童の学力や学習状況を調査して分析し、今後の指導に生かしていくことが目的。

国語は、東柏の子どもたちは全国平均を少し上回っていた。今年度から校内研究が国語になり、物語文の読みを重点的に指導している。さらに来年の結果につながるとよい。一方で書く活動に苦手意識がある児童が多い。今後、行事ごとに振り返りを行うことで書くことを意識して行っていきたい。

算数は、国語と比べて全国平均を少し下回っていた。グラフや表の問題がよくできているが、文章から立式することが課題としてあがった。今後生活経験の中で結び付けられるように指導の工夫を行っていきたい。

質問紙はいくつか項目にこたえるものになる。よかったところは、道徳科の授業で積極的に考えていること、授業以外でも読書をしていると答えている児童が多かった。道徳は去年まで校内研究を行っていた。読書は、休み時間に読書をしている児童が多かったり、図書ボランティアの方がよく読み聞かせに来てくださったりしている。一方で、自分自身に自信がもてない児童が多く、自己肯定感を高めていけるような教師の言葉かけが必要であると感じる。市のホームページからは12月8日に見るができる。

【協議】今年度の結果について

三村総括教諭：児童の質問紙の自分で計画を立てて学習することが苦手と答えている児童が多い。ゲームやタブレットの使い方のルールを決めていく必要がある。

工藤委員：最近の子どもは意見を求められても、答えることができないと感じる。

朝の会などで自分の意見を言えるような学習をしていく必要がある。
佐々木教諭：今年度からの校内研究では、自分の考えをもつことを意識して指導している。

芳賀委員長：全国平均を上回っていることにうれしく思う。読書についても学校応援団の図書ボランティアの方に報告したいと思う。また、算数の力を伸ばしたい。

佐々木教諭：毎年実施する学年が違う。自分の考えを表出するのが苦手なのは、全国的な子どもの現状なのではないか。地域としてできることは何かを考えた。

(8) その他

・CSルームの活用について

三村総括教諭：2学期からは地域の方とともに楽しむ場として活用している。子どもたちにも地域の方との関わり大切さ、CSルームの活用について伝えるようにしていく。1年生の折り紙教室、2年生の九九チャレンジなど地域の方に協力していただいた。

・えびなっ子スクール実施報告とお礼

佐々木教諭：全学年実施することができた。ご協力していただきありがとうございました。子どもたちの感想の中には、「来年もやりたい」「興味をもった」など前向きな感想が多かった。

・鬼っ子フォーラムの紹介

植木教諭：本校の運営委員の5年生が参加した。
Zoomを使用して登別市、白石市の児童とつながることができた。
(実際の動画を少しだけ見ていただきました)

・学校評価アンケートについて

小林校長：12月に保護者・児童対象にアンケートを行い、1月に集計。集計結果については、2月の学校運営協議会で報告させていただく。

(9) おわりに(学校運営協議会副委員長)

佐藤副委員長：皆様、お疲れさまでした。学校の状況や子どもたちの状況を知ることができた。次回は来年になりますが、よろしく願いいたします。

次回の学校運営協議会は、令和6年2月28日(水)15:30から開催予定。

今年度の最終回となります。どうぞよろしくお願い申し上げます。